

2010年度鉄緑会大阪校 合格者の声

鉄緑会での6年間

東大理Ⅲ R・A (灘卒)

僕は鉄緑会へは中1から英語、中3から数学を通い始めました。英語は莫大な演習量を与えられますが、その分力をついたと思います。僕は高3の夏頃までピアノを続けていて、特に高1、高2ではコンクールを受けていたりして、通塾できない時もありましたが、そんな時でも松葉先生、鶴田先生は僕の事情をよく理解して、度々フォローして下さいました。また、ピアノに傾倒していたせいで、物理は高2の後期からの一年半で、化学に上っては高3一年間で完成しなければなりませんでしたが、新井先生、作道先生は僕の相談によく乗って下さいました。本当にありがとうございました。

鉄緑会には中1から6年間お世話になりました。

東大理Ⅲ Y・M (灘卒)

鉄緑会の魅力は演習量の多さと周囲のレベルの高さだと思います。確かに、毎週の宿題の量は多いですが、それをしっかりこなし、授業でのテストを真剣に解くことで合格するのに必要な学力は十分につきます。また、高いレベルの仲間たちが揃っていて、彼らと切磋琢磨していくことで、より高いレベルを目指すことができます。皆さんにも鉄緑会を信じて合格をつかみとって頂きたいと思います。最後になりましたが、お世話になった先生方には本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

鉄緑会での6年間

東大理Ⅲ M・S (灘卒)

僕が鉄緑会に入塾したのは中学一年のことでした。それ以来、数学と英語をお世話になりました。鉄緑会の良い点の一つに、多くの演習教材が与えられる点があると思います。演習を多く積むことは、本番での自信につながります。実際の入試会場において、僕のように合否どちらに転ぶかわからないという場合、その場の心理状態が結果に大きく作用すると思います。その時に、自信のある教材があるということは、とてもプラスに働きます。受験生の方へ、鉄緑会を信じて演習を積んでいけばきっと現役合格の道が見えます！頑張ってください。

中1からの6年間の努力が実を結び、鉄緑会に感謝！

東大理Ⅲ M・W (灘卒)

中学1年で鉄緑会に入会して以来6年間お世話になりました。塾といえば鉄緑会のみであとは学校の授業内容をきっちりやることを目標に勉強してきました。中学1年から入塾することにより早いうちから自然と勉強する習慣が身に付き、中学入試突破後の気の緩みもなく割と自然に勉強することができました。塾自体がハイレベルであること、クラスの生徒もレベルが高く、その環境で頑張っていけば十分大学受験に通用するという点で、特別なことを特別頑張るのではなく普通に勉強するイメージで続けることができたのが鉄緑会に入会して良かったと思える点です。中学1年から3年までは英語と数学のみで、高校3年から化学も受講しました。6年間のうちには良い時もあれば悪い時もありました。毎週の授業のテストの点数があまり芳しくなく、授業態度も悪い時にはクラス落ちという目に遭いましたがこれも先生の愛の鞭だと思い頑張ってSAに戻れるように努力しました。先生の注意を悪く取って文句を言ったりしたこともありましたが、先生はいつも私のことを純粋に考え、私の言動を純粋に怒り、純粋に指導してくれました。期末の資料は先生の真剣な気持ちが伝わってきて、励まされました。続けていくことが辛くなった時には自分が今何をしたいのか、目標は何なのか、目標を達成するためには何をすべきなのかをもう一度再確認してそれに向かって行動するしかないと思いました。自分の信じた道を(迷うこともあるが)一生懸命信じて努力すれば道は開けると実感しました。正直言って人の言うことを聞かない暴れ馬のような私をうまくご指導いただき、勉強面のみならず人間的にも成長させていただけたことに深く感謝いたします。このたび6年間の努力が実を結び、鉄緑会の先生方並びに事務の方々に第一志望校合格のご報告が出来ることを大変うれしく思っています。6年間本当にありがとうございました。

ハイレベル受験と最良の環境

東大理Ⅲ D・Y (灘卒)

僕は、高校から鉄緑に通い始めました。高校1年、2年のころは、部活に力を入れていたので大変でしたが、先生たちの配慮のおかげで、他の人と変わらず勉強にも時間をさくことができました。終わってみれば部活をしていた頃と止めた後でも大して変わらず、勉強に取り組めたと思います。更には得点の何より良いことはすべての先生が信頼できることだと思います。その先生たちに教えられた自分のやり方に間違いはないと確信を持って勉強することができました。また、鉄緑は高いレベルの仲間たちが集まるという点でも、最良の環境だと思います。最後の年は、精神的に苦しいときもありましたが、そんな時はいつも、生徒のことを理解してくださっている先生に相談にのっていただき、とても助かりました。支えてくれたすべての先生に感謝しています。本当にありがとうございました。

成績を最もあげてくれる塾は鉄緑会であり、模試上位は鉄緑生ばかりだ。大事なものはその流れに乗ることだ。

東大理Ⅲ R・H (洛南卒)

結局は塾や学校やテキストが成績を上げるのではない。そういうものをうまく使って自分で勉強した奴が強くなる。鉄緑はそれがとてもし易い塾だと思う。毎週の宿題、量が多く、段階的に復習ができるようになっていく。そして毎週あるテスト。「自分で勉強した」成果の確認には最適。更には得点力を飛躍的に向上させることができる。自分に合った問題を選んだり、テストを作ったりという作業は自分でやるには時間がかかりすぎる。それをやってくれるのが塾であり、それを最高水準で提供するのが鉄緑だ。あと、重要なことは、選ばれた生徒メンバーだ。受験における最高レベルの友人と毎週勉強できる。模試で上位を占める連中、一般には「化け物」のように思われているようだが、鉄緑にいればそういうことを感じることはなくなる。模試上位に付いているのは鉄緑生ばかりだ。「上位ってこんなもんか」と思える。勿論、見下している訳では全くない。そういう友人を見ながら勉強するといずれ近づきあるいは追い抜くことができるような気がする、実際そういうものだ。上は上でそういう勢いを感じて勉強を続ける。こういういい流れが鉄緑生として模試上位を独占させているのだ。ただ大事なものはその流れに乗ることだ。低いクラスになってしまうこともあるだろうが、クラス分けというのはあくまで鉄緑の中での「現時点での」レベルにすぎない。「鉄緑会」という一流の集団の中で勉強しているという事実が変わりはない。焦ることなく勉強しつづければ必ず成績は上がり(勿論一朝一夕ではない)、クラスも結果としてついてくるだろう。最終的には「現役合格」を勝ちとれる。逆に上位クラスはそれを自覚して気を抜かず頑張らないといけない。あと、学校との両立についてだが鉄緑は基本的な勉強スタイルを身につけることができる。変わったことをする訳でもないで学校の勉強に限らず、自分の興味のある分野があればそれを勉強したりすることも可能だ。「勉強とは何か」ということを教わったのが鉄緑会だ。繰り返すが、塾が成績を上げる訳ではない。スタンダードな勉強法、(これを世間は知らなすぎるんだ!)を教えてくれる。それを自分なりに実践して行ってこそ鉄緑会にいる価値がある。必死に勉強してもし結果がついてこないことがあれば、勿論そのまま継続し続ける(辛いが重要だ)ことは必要だが、その合間に自分は「宿題に流されて」いないかを考えて欲しい。ただ漠然とこなすだけでは意味がない。どうすれば「鉄緑を使って」成績を上げることができるのかは考えてみるべきだ。自分の勉強だから、自分で責任をもって自分で組み立てるべきだ。鉄緑は塾として最高だろう。講師も教材も一流だ。だがその「環境」に甘んじるな。そこで一流の努力をしてこそはじめて学力も一流になれる。逆に受験の神は鉄緑で一流の努力を続ける者は決して見捨てない。自信をもって！鉄緑に、講師に、そして何よりそこに通わせてくれた両親への感謝を忘れずに「自分のために」日々邁進してほしい。頑張れ。あと鉄緑は教師とのコミュニケーションがとりやすいことも素晴らしいところだ。辛い時、講師に相談しづらいぶんはげましてもらい、大きな支えになった。学力、精神面ともに支えてくれた鉄緑会に感謝の意を表します。

鉄緑会に通った6年間

東大理Ⅲ N・I (神女卒)

私は中学1年の初めから、高校3年の終わりまで鉄緑会でお世話になり、全教科受講していました。鉄緑の良いところは、どの教科についても自分よりできる人が大勢いることです。特に得意科目があるわけではない私にとって、この環境は成績を伸ばすのに最適でした。また、先生方も非常に熱心でした。毎週の濃密な授業に加えて、大量のプリントを作って下さったり、必要時には面談をして下さったりと、とても一生懸命で、自らついていこうと思える先生ばかりでした。私が合格できたのは間違いなく鉄緑会に通っていたからです。宿題が多かったり、成績が落ちたり、辛い時もありましたが、友達と励まし合い、先生に相談して適切なアドバイスをもらうことで乗り越えることができました。お世話になった先生方をはじめ、私を支えて下さった全ての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

鉄緑会に通った6年間

東大理Ⅲ C・K (神女卒)

私は中1から鉄緑会に英数とも通いはじめました。クラブ、行事などの忙しい中、鉄緑会にきっちり通って少ないとはいえない量の宿題をこなすことに焦点をしばっている、その他のことは全くと言っていいほどせず十分な実力をつけて頂いたと思います。また、テキストの内容も6年間全体を見すえうえでまとめ上げられており、昔習ったことを形や視点をかえてやり直す度に新鮮に感じました。理科の入会は高3からだったので、高2の頃からコツコツ通っていた友人のレベルの高さに驚かされましたが、毎回のテスト演習で(理科のみならず、英数でも)一番不安のあった「得点力」を養う機会を与えられて合格できる位置まで押し上げて頂きました。途中でどうしても伸び悩む点数に押し潰されそうになりましたが、いつも先生方に面談して頂くことで乗り切ることができました。勉強以外の面でもご助力下さったことに感謝はつきません。最後になりましたが、お世話になった先生方や、事務の方々など鉄緑会の全ての方に御礼を申し上げたいと思います。長い間本当にありがとうございました。

鉄緑生であることは私の誇り(鉄緑での6年間に感謝)

東大理Ⅲ M・M (神女卒)

私は中1から鉄緑会に通い続けていました。鉄緑会は一般に、課題が多く授業の進度は速いと言われますが、今思い返してみるとその課題の中に無駄なものはなく、また授業は優秀な先生方により行われるのでわかりやすく、結局は最も効率的に志望校に合格するカリキュラムが組まれていました。また、あらゆる学校のトップレベルの生徒たちと毎週の復テや年2回の校内模試で競いあえる刺激的かつ楽しい環境が与えられています。中学校に入った時点では学校でも鉄緑会でも上位ではなかった私が今年志望校に合格できたことは、6年間通い続けた鉄緑会抜きには決して語れません。鉄緑会の先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。

大学受験に直結したカリキュラムとレベルの高い仲間

東大理Ⅲ Y・T (灘卒)

僕が鉄緑会に入塾したのは中2の時、入塾当初は英語のみ、中3の後半からは数学、高3では物理化学も受講しました。鉄緑会の特長は何と言っても、見事なまでに大学受験に直結したカリキュラムと、集まってくる仲間のレベルの高さ、そして熱意ある先生方です。中2という早い時期から大学受験を意識したカリキュラムのものでコンスタントに勉強することで、高校に上がってからでも優位に受験勉強を進めることができましたし、高3では毎回毎回ハイレベルな集団の中でテストゼミを受けることで、入試に向けてこれ以上ないというほどの練習を積むことができました。最後になりましたが、お世話になったすべての先生方、事務の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

終わりのない受験勉強も実は鉄緑の内容をやれば充分なのです

東大理Ⅲ M・M (灘卒)

ようやくこの春トンネルのように長く、先の見えない受験生活に終止符を打つことができました。初めに、今まで支えて下さった先生方、互いに競い合った友人、様々な迷惑をかけた事務の方々、そして何よりの支えであった兄と両親に感謝したいと思います。これまでを振り返ると、鉄緑に入ってからは自分の中で大きく4つの時期に区切られると思います。まず、中3の後期～高一の終わりまでのサボリ期間。ただし、この間でも学校の定期考査だけはちゃんと頑張っていました。今から思うと、高一まではクラブに没頭しても、遊びにふけても構わないが、定期考査だけは真剣に取り組むという癖をつけておくことで、「短期間であれ、集中する力」を身につけられるのだと思います。

そして僕の中で大きな転機が訪れたのは、高一の終わりでした。ある友人の「M君なら理Ⅲ行けるよ。」と無謀なけしげに馬鹿みたいに感じて、そこから理科Ⅲ類に興味を持ち始めました。その時、成績は到底受かるとは思えないものですが、もし理科Ⅲ類に入ったら将来どんなことをしようかと妄想(?)をふくらませていました。そしてそういった妄想が、ある程度明確なビジョンとなった時に、(その時のビジョンと今持っている将来のビジョンは全く違うけれど...)勉強に本腰を入れ始めました。ここで一つ言いたいのは、長い受験勉強に耐え得るだけの動機を持つておくべきだということです。単に、「〇〇大学の〇〇学部に行きたい」という気持ちだけでも、多分鉄緑のカリキュラムを全うすれば受かるのですが、その「全うする」ことが非常に大変になってきます。なんせ、受験勉強は、受験が近づくにつれ、どんどん長くて終わりのないものに思えてきます。だから精神的にも余裕のある高一～高二の前半の間に、志望校と、自分なりの志望動機を持つておくことをお勧めします。そこから成績はしばらくあまり伸びませんでした。|やり直し|をひたすら積み重ねることで、物理を得意科目とし、数学もそこそこの得意科目にすることはできました。この時点では英語は木戸先生の下、好きな科目に変わりつつありましたが、やはり苦手でした。(化学は全く手つかず)この状態で高2の第1回校内模試を受け、物理と数学はこの上ない成績をおさめたものの、英語はA4からA3に上がるにとどまりました。この時、宮崎先生に「英語を頑張ったけど成績が伸びない」と泣きついたら、「ダサイ」で一蹴されたのは今でも覚えています。おそらく、この言葉があったお陰でそこから半年間、狂ったように勉強して、高二の最後の校内模試で、英数物でフィーバーすることができました。そのせいか、その時点でいまだに全く手つかずだった化学もSAに入ることができ、全科目で一番上のクラスに入ることができました。ここまでが自分の中の第二期にあたりです。

第三期は、高三に入ってからの中だるみ(?)期です。全科目とも、一番上に入って後はしばらくレベルの高さに苦しみました。6月の駿台全国模試の結果が返ってきた7月頃には「少し手を抜いても...」という気持ちの片すみに生まれてしまいました。そして8月の東大OP・実戦の前には、「必死で勉強する」癖をすっかり忘れてしまっていました。OPではA判定でしたが、実戦ではB判定。周りが結構良かったので、少なからずショックを受けました。そこから学校行事にも取り組みつ、勉強も合間を縫ってやっていきましたが、それでも「必死」からは程遠いものです。秋のOP・実戦は両方ともA判定が出たものの、不十分な科目が露呈してしまいました。その結果を「まあA判定やし」と余裕顔で化学の武田先生に持っていたところ、久々に「最近調子乗ってるな。キレを失っている」とお灸をすえられて、ようやく高二の時の「必死さ」の感覚を取り戻すことができました。ここまでが第三期ですが、ここで僕が言いたいのは、鉄緑の先生が各生徒に対して的確かつ効果的に精神面まで指導してくれるということです。もちろん、鉄緑ならではの、周囲にいるストイックな向学心を持つ友人達も、良い意味で精神的な刺激を与えてくれます。これだけは、本当に鉄緑でしか得られないものです。

そして僕の中での第四期は年始のセンター前から二次試験本番までです。高二の時の「必死さ」をようやく取り戻して、本当にやり込みました。センター試験はそれでも報われることなく、804/900でしたが、センターで周囲につけられた点差(東大換算でおおよそ5点)を埋めなくてはならないという守り型の姿勢から気持ちを立て直し、自分の中でのリミッターを外して、アグレッシブに二次試験で370/440を取ることを目標としました。一見、実現不可能に思えますが、それを本気で実現しようとしたことが、最後の某塾の模試及び、本番での好成績につながったと確信しています。ここまであまりに長く書き過ぎましたが、やはり最後はお世話になった方々に感謝の意を表して文章を終えたいと思います。本当にありがとうございました。

圧倒的な演習量と教材の質の高さ

東大理Ⅲ A・T (東大寺卒)

僕は中3の後期から鉄緑会に入会し、はじめは数学だけ受講していましたが、徐々に科目を増やし、高3の後期には全科目を受講していました。さて、僕が鉄緑会通过って特によかったと思う点は3つあります。1つ目は、鉄緑会の圧倒的な演習量です。成果の大半をこなした問題の量に依存する受験勉強において、これは特に重要だと思います。それでも学校、クラブとの両立が可能なのは、教材の質の高さとよく練られたカリキュラムのおかげです。僕は高2の時2つのクラブに所属していましたが、何とか両立することができ、またそれが自信にもなりました。2つ目は、周りの生徒のレベルの高さです。全国でもトップレベルの実力を持ちながらさらに上を目指して勉強する人が数多く鉄緑には在籍していたので、そんな人達の刺激もあって、僕もよく勉強できたのだと思います。最後の一つは、生徒と講師の距離の近さです。質問が気軽にできる環境や、受験前日、当日も励ましてくれた先生方は他塾に類がなく、本当にありがたかったです。また、僕も進路を迷っていた時期があり、その時に励まし、理Ⅲをすすめてくださったのがチューターの鶴田先生で、今ではとても感謝しています。最後になりましたが、僕を合格に導いてくださった鶴田先生、武田先生、松葉先生、木戸先生、新井先生をはじめとする鉄緑の先生方、本当にありがとうございました。

鉄緑会での2年半

東大理Ⅲ T・K (灘卒)

僕は高校1年の後期から鉄緑会に通い始めましたが、最初の頃は通っているだけという体たらくで校内模試に臨んだ結果、驚くほど悪いクラス判定を受け、そこから一念発起して勉強し始めました。その結果何とか高3では上位クラスに入ることが出来ました。今、もし不運にも下位クラスの判定を受けても諦めないで下さい!最後になりましたが、チューターの岡先生、僕の数学を立て直して下さった宮崎先生、中川先生、木下先生、福田先生、どうしようもなかった物理を助けて下さった新井先生、化学の神、武田先生、どうもありがとうございました。

鉄緑の最後の直前講習で大きく伸びた

東大理Ⅲ K (灘卒)

僕は今年東京大学理科Ⅲ類に合格しました。ですが、やってきた受験勉強の全てが効率の良いものだったとは思いません。ですから、この機を借りて反省すべき点、よかった点を少し挙げてみます。・センター試験の準備を始めるのが遅かった→センターの結果は悪かった。東大はあまり差が出ないの助かりましたが、普通の人はテンションは落ちます。準備は遅くとも11月中頃には始めるべきだと思いました。・英語が最後まで中途半端だっ

たー英語はおそらく知識のインプットは出来てたと思うけれど、アウトプットの練習が足りなかった。英語はすべての教科の中で一番自分の力の向上が感じにくいと思うので、かなり精密に勉強するべきだと思いました。最後の伸びが大きかったー鉄緑では直前講習があります。これとそのあとの自習時間での頑張りはそのまま点数に結びつきました。他の人に勝てる教科がひとつあったー高3の後半期、数学はかなり得意でした。ひとつ他人に勝てる教科があると、ものすごくラクです。数学でも、英語でも、理科でも、国語でも何でもいいです。ここまで書いてきましたが、結局努力は必ず報われるということを受験で教わりました。最後に、お世話になった鉄緑の先生方どうもありがとうございました。

強制的に放り込まれた鉄緑会に嫌で何度もやめたいと思いながら通った6年間 京大医 K・S (灘卒)

僕が鉄緑会に入会したのは、中1の春、中学受験の直後でした。もちろん中1の春に、第1志望の大学が決まっているわけもなく、これからの中高6年間の勉強に対し、不安に思っていた親のすすめ、という強制的に放り込まれたわけです。そんなわけで、最初は鉄緑に行くのがとても嫌で何度もやめたいと思いました。しかし中学もそろそろ終盤にさしかかってきた頃に、いつのまにか英語のクラスがC2になっていました。この頃になって、やっと自分の考えが甘いことに気付かされました。おそらく鉄緑に通っていなかったら、中高一貫のゆるま湯につかったままであったし、自分がいかに出遅れているかに気付かなかったでしょう。そういう意味で、早い段階から鉄緑に通って、レベルの高い環境に身を置いていたことは、今となっては本当によかったと思います。この時、実はかなり落ち込んでいた僕に、英語科の先生は、何とかやる、やればできるなど甘いことは一切言わず、今のままではとうてい京医は無理であると言われました。が、同時にどうすれば成績が上がるということを、具体的に指導して下さいました。こういった生徒一人一人に対する指導もまた、鉄緑会を選んでよかったと思う、一つのポイントです。受験は一人ではできません。良い教材、良い師、そして共に闘う仲間達があってこそ、私は京医に受かったのだと思います。これら3つの要素をすべて含む鉄緑会は、これから受験をする人達にとって最高の環境であることは間違いありません。最後になりましたが、こんな怠け者の僕を最後まで引っぱって下さった先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。

受験に最も適した塾、鉄緑会（6年間に感謝!） 京大医 T・T (灘卒)

僕は、中1から高3まで、6年間鉄緑会に通っていましたが、鉄緑会は受験に最も適した塾だったと思います。鉄緑会には、自分の疑問点にすぐに答えてくれる講師の方々と、自分と競い合ってくれる多くの友達がありました。高3の頃、僕はあまり鉄緑会の自習室は利用していませんでしたが、僕の友達のほとんどは自習室に毎日通いつめており、そのことで僕は、「みんなも勉強しているのだから、自分も勉強しなければ」と思い、勉強に精を出していたのを覚えています。高3の最後まで気を抜かずに勉強することができたのは、このような素晴らしい講師と友達のいる鉄緑会のおかげだと思います。最後になりましたが、今まで6年間お世話になりました。ありがとうございました。

鉄緑会での6年間 京大医 K・T (灘卒)

僕は中1から鉄緑会に行き始め、6年間お世話になりました。鉄緑会のよいところは、演習量の多さだと思います。学校で勉強しただけでは、すぐに忘れてしまうようなことも、鉄緑会の宿題とテストをこなしていくうちにしっかりと身につくと思います。また、先生方はほとんどが大学生で、実際に受験されているので、して下さいのお話は非常にためになりました。面談した時は力強く励まして下さり、不安なときも乗り越えられました。最後になりましたが、今までお世話になった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

宿題量が多くて大変だった時もあったが、合格できたのは中1からの6年間の努力が最大の要因 京大医 N・U (灘卒)

僕は中1の時から英語を、中3の時から数学を鉄緑でとり始めました。鉄緑の英語はしっかり文法を教えてくれるため、英語の基礎が周りの学校の同級生よりも早く身につく、定期考査でもほとんど勉強しなくてもしっかりと点がとれるようになりました。英語も数学も宿題量が非常に多くて、大変だった時期もありましたが、これが今年合格できた最大の要因だと思います。また、多いといっても部活ができない程ではなく、僕も実際引退まで運動部に入っていました。高校生になって成績が下がった時期もありましたが、先生方は僕の相談に時間をおかずのって下さり、今の志望校を目指すきっかけとなったのも鉄緑会のある先生でした。また、高3の間は、おそらく日本一であろうハイレベルな集団でテストゼミが受けられ、模試でどんなにいい成績をとろうともおごらず、共に競い合って一年間やっていきました。鉄緑会では先生方はもちろんですが友達にも本当に助けられました。現役で合格できたのは本当にこの環境のおかげだと思っています。ありがとうございました。

鉄緑会はハイレベルな受験に最適な環境 京大医 Y・Y (灘卒)

鉄緑会のいい点は一言で言うと環境だと思います。細かくいうとまず膨大な演習量。気付かないうちにこれだけやってたのかと思いました。次は教え方だと思います。ああこれなら僕でもできるかも知れないと納得のいく内容でした。あとは周りの友達です。「井の中のかわず」の逆バージョンでした。最後に、僕の中で一番大きかったのは、先生方の熱意と優しさで親身な指導です。僕は何度も壁にぶちあたりました。そんな時先生方はどう勉強すべきかや僕の欠点などを教えてくださるだけでなく、精神面でも支えてくれました。こんなハイレベルな受験に最適な環境で何とか頑張り通すことができました。お世話になった先生方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

クラブに入るための交換条件で入った鉄緑会で頑張り続けた6年間 京大医 Y・T (洛南卒)

合格体験記としてこのようなことを書くのはふさわしくないとはわかっていますが、僕は自ら鉄緑会に入りたいと言って親に頼んだのではなく、親からの「クラブに入るのなら鉄緑会に入りなさい」という交換条件をのんで中1の時に入会しました。小学生の頃は算数も国語も大の苦手で、入会テストの結果はともにBクラスでした。学校の周りの友達にはSAやAクラスの子も多くいましたが、当時は特に気にすることなく、鉄緑では最低限与えられたことはやり通そうというスタンスで、残りはクラブのパレーボールに熱中していました。それを日々繰り返すだけで、中2では英数ともにSAクラスに上がり、学校の成績も、試験前に理社さえ勉強すれば10番以内はキープできました。といっても、中1の一年では宿題と直し以外はたいしてこなしておらず、それだけ成績の伸びるのだ、と実感しました。それからの中学生においては、クラブと勉強ともをしっかりこなしていましたが、中だるみもあり、A帯をうろついていた。中3の後期で前中先生に喝を入れられ、クラブもやめたこともあり、本気で勉強しはじめました。高1では西北とのクラス合併もあり、いつもよりさらに勉強したことを覚えています。高1では英語はSAに上がり、後期から数学でもSAに上がり、勉強の成果を実感していました。ところが、高2になると、のび止まりというかべにぶち当たりました。高2から受験を見据えて、人より勉強量を増やしたはずなのに、成績はのびず、辛い辛い毎日でした。クラスも段々下がり始め、いろんな先生に支えられながら、何度もくじけつつ、とりあえず、ひたすらに勉強しつづけてきました。それでも成績はのびず、松葉先生にはかなりはげましの言葉をもらいました。そのまま高3のクラスも下がり、不安なまま、高3が始まりました。チューターは松葉先生で高3になってからはげまし続けられました。高3の一回目の模試でもなかなか成績に表れず、苦闘していましたが二回目の模試でA判がでると、そこから波に乗ったのか、A判を取りつづけてきました。この頃には数学の安定はしなかったものの、理科と英語が高成績で安定しはじめました。中でも生物はのびがすばらしく、模試で1位をとるに至りました。本当に河路先生のおかげです。直前期には全ての講習で名前が載るようになり、いちばん良いテンションでテストをうけましたが、本番の出来はよくありませんでした。でもなんとか受かることができました。高3では、松葉先生、河路先生をはじめ、中北先生、武田先生、岡先生、鶴田先生にお世話になりました。今思えば、高2の時は辛かったですが、このまま頑張りつづけたことが良かったと思います。あと、今から思えば、無理矢理僕を鉄緑に入れてくれたことに感謝しています。

鉄緑の6年間で振り返って 京大医 N・J (神女卒)

私は中1～高3の6年間鉄緑会に在籍し全ての講座を受講していました。基本的にまじめではない私が無事合格出来たのはひとえに鉄緑会のおかげです。今思えばそれまでの中途半端な勉強が通用しなくなりクラス落ちした高2の頃が私のターニングポイントでした。高2は得意科目だったはずの数学で思うように成績が出せず勉強以外でもいろいろと苦しんだ1年でしたが、先生方が何時間も相談のって下さってなんとか乗り越えられました。先生方は私の学習状況や精神状態を驚くほど把握して下さい、試験当日まで本当に大きな支えとなって下さいました。先生方としっかりした信頼関係が築けるのは鉄緑会の他とは違う特徴だと思います。高3でも部活2つと行事の幹部をかねもちして忙しい毎日でしたが、互いに切磋琢磨しながら共に同じ目標を目指すよき友人にも恵まれ非常に充実した中高生活を送りました。最後まであれほど頑張ったのは友人に励まされ、また、彼らの努力する姿を近くで見ていたからでしょう。本当に鉄緑会に通って良かったです。最後になりましたが、お世話になった先生方、事務員のみなさん、本当にありがとうございました。

鉄緑会に通った6年間

京大医 S・Y (神女卒)

私は中1から6年間鉄緑会にお世話になりました。中学の頃はアットホームな雰囲気の中で皆で楽しく授業を受けていました。それなりにしっかりと勉強していました。しかし、私は楽ばかりしようとする癖があって、傲慢にも無駄な努力はしたくないと考えていました。そのためか、高校になって努力がすぐに成績に反映されなくなると日々の勉強が無意味に思えて、それほど重要と言われていた高2の時期に英語と化学をさぼってしまいました。すると成績は見事に下がり、先生方には「危機感がない」といわれ、さすがに高2の校内模試後からは英語と理科を集中的にやりました。高3では、誰かを蹴落としてでも自分だけは合格しようというのではなく、皆と一緒に受験を乗り越えようという雰囲気が生まれてモチベーションも上がり、心の救いにもなりました。本当に合格したいと思えばどんな努力も無駄だと思いませんでした。事実そうでなかったから私は合格できたんだと思います。最後になりましたが、なんと6年間もお世話になった鶴田先生や松葉先生、武田先生、新井先生、岡先生、宮崎先生をはじめお世話になった先生方、私を最後まで見捨てないで下さってありがとうございました。それから家族と一緒に頑張った友達、どうもありがとうございました。

楽しかった六年間

京大医 A・F (神女卒)

中学一年生から六年間鉄緑会で全教科受講しました。中学生の時は西宮教室に通い、のびのびと楽しく授業を受けていました。この頃は、前期が英語であれば後期は数学というように、半年ごとに交互に勉強していました。高校生となり、大阪校に通い始めるとレベルの高い友人がさらに増え、圧倒されたことを覚えています。彼らの中で学ぶことで自然と力がつきました。これは鉄緑会の本当に素晴らしいところだと思います。高2の後期、スランプに陥った時、先生方に何度も面談して頂きました。その励ましのおかげで、あきらめず苦しい時期を乗り越えることができました。六年間御指導下さった先生方、感謝しています。特に高3でお世話になった岡先生、鶴田先生、福田先生、新井先生、武田先生、そして宮崎先生、本当に有難うございました。

大好き鉄緑!! 楽しかった6年間

京大医 S・M (神女卒)

私は中1から鉄緑会に通っていました。中高6年間を通して私はクラブや行事など、常に学校行事とも両立していたのですが、忙しい時でも勉強しようと思ったのは鉄緑会という素晴らしい環境にいたることができたからだと思います。宿題の量が多くて大変でしたが、今から思うとその演習量こそが合格には必要なことなのだとしみじみ感じます。毎年2回行われる校内模試も良い刺激となりました。クラスを1つでも上げるために必死で復習したことは、後で必ず役に立ちます。周りの友達のレベルも高く、互いに切磋琢磨しながら勉強できる環境である鉄緑会には本当に感謝しているし、大好きです。最後になりましたが、お世話になったたくさんの先生方、本当にありがとうございました。

至高の環境を提供する場—鉄緑会での6年間—

京大医 H・H (西大和卒)

僕は鉄緑会に中1から通い始めました。学校よりも圧倒的に進度が速く、学校の勉強に集中しなくても、鉄緑の勉強をちゃんとするだけで全く困りませんでした。全科目において配布される教材が高クオリティで、何度もそれらをやることでも力がかかりました。高3になってからは、周囲にいる人々が全国レベルの人々なので、この集団についていけば通ると信じて勉強していました。最もよかったと思うのは、モチベーションをいつも高い位置で保てたということです。もし、学校だけだったら妥協が入っていたかもしれません。人間は環境の産物です。自分の周りの環境を自ら良いものにしていけば、成功を勝ち得ることができると思います。最後に、お世話になった先生方、事務の皆さん、家族のみんなに感謝をしたいと思います。ありがとうございました。

鉄緑会での6年間

京大医 Y・M (附池田卒)

私は中1から鉄緑会に通っていました。授業、テキスト共にとても質が高く、高2までは普通に授業に出て宿題をして、半年に1回の校内模試に向けて勉強するだけで、かなり実力がつきます。中1から進むのがとても速いので、授業のペースがよほど速い学校に通っていない限りは中1から英数を受講した方がいいと思います。また他の予備校とちがって、講師が授業、プリント作り、テスト作り、採点、質問受け、面談等全部を1人でして下さるので生徒1人1人をよく理解し親身になって下さいます。私が本番のセンターでの合格確率の判定が20%未満ばかりだった時も、先生方は励まして下さり、むしろよくこれだけとったとほめて下さってとても元気が出ました。このような最高の環境があったからこそ合格できたのだと思います。授業等でお世話になった先生方や事務の皆さんありがとうございました。

鉄緑会での6年間

京大医 S・Y (附天卒)

私は中1から高3までの6年間鉄緑会でお世話になりました。学校の授業は私立と比べ物にならないほど進度が遅かったので、鉄緑の勉強を中心に、テキストを繰り返しやりました。鉄緑では、問題集に加えて復習テストやプリントなど教材がとても多く、たくさん演習を積むことができたし、毎回の復習テストで順位が出され、常にトップレベルの友達と競争する環境にあったことでモチベーションが上がったので、とても良かったと思います。入試本番では、レギュラー授業でテスト慣れしていたことと、周りに鉄緑生や先生がたくさんいたおかげで、自分でも驚くほど落ちついていて、十分に実力を発揮することができました。私が合格できたのはひとえに鉄緑会のお陰だと思っています。本当にありがとうございました。

鉄緑に感謝!!

京大医 T・O (灘卒)

僕が鉄緑に入ったのは中2の時でした。はじめは英語だけだったのですが、宿題の多さや周りの人たちのレベルの高さに驚きました。しかし、その頃から英語にたくさん触れていた事も、今考えると、受験で成功する鍵だったのだと思います。結局高校では、英語・数学・物理・化学を受けることになり、得意だった数学の力を維持しながら、英・物・化の成績も大きく伸ばすことができました。それも、周りの良きライバル達のおかげです。そして、鶴田先生をはじめとする各科目の先生方には、勉強の仕方などの面でアドバイスを下さり、大変お世話になりました。特に、チューターの松葉先生には、いろいろと相談にのってもらい、そのおかげで受験に対する不安を解消し、自信を持って受験することができました。本当にありがとうございました!

毎週のテストは良いモチベーション・数ⅢCは演習量を積むため高1から

京大医 K・H (灘卒)

私は中2から数学、中3から英語、高1から数ⅢC、高3から物理、化学を受けていました。鉄緑では毎週テストがあるので、周りの人という意味で競争できます。学校ではそこまで多くテストを受ける機会が無かったので、私にとっては良いモチベーションとなりました。特に高3数学でのテストゼミは分量、レベルともに、大学受験と同等に設定してあったので、とても良い練習になりました。数ⅢCは演習量を積むためにも、高1から通うことをおすすめします。数ⅢCは結局は計算力勝負となることが多いので、早めに通って置いて良かったと思います。物理、化学は私は学校で遅れをとっていたので、高3からとりました。化学のテキストはとても良くまとまっていたので、基礎から固めなおすことが出来ました。物理も毎週のテストゼミで受験までの調整をすることができました。最後になりましたが、今まで私を支えて下さった先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。

与えられたもので十分な塾

京大医 E・A (神女卒)

鉄緑会には中2からお世話になりました。宿題が多いですが、テキストやプリントの質がよく、鉄緑で与えられたものに必死でくらすっていいかなと思います。まわりには本当に頭がいい人がたくさんいて、あせったこともありましたがいい刺激になりました。クラスや自習室で友達もでき、みんなでがんばれたと思います。優柔不断でネガティブな私の面談に根気強くつきあって下さった先生方には本当に感謝しています。私に教えて下さった先生方に会えてよかったですし心から思います。私の辛い時を支えてくれたすべての方に感謝します。

周りの温かい眼差しに見守られて・・・

京大医 N・W (灘卒)

僕は、鉄緑会の中3から英語、高1から数ⅢC、高2から数学、高3から物理と化学を受けていました。部活が忙しく、高3の初めの段階では周りよりもやや遅れをとっていましたが、鶴田先生やチューターの井上先生、宮崎先生や武田先生からの手厚いサポートを受けたおかげですぐに遅れを取り戻すことができました。また、同じ志望校を目指す友達同士で、授業のない日曜日でも鉄緑会に来て、互いに励まし合いながら勉強したおかげで、最後まで全力で頑張ってきたのだと思います。本番までのスケジュールを立ててもらって無駄なく勉強できました。陰で支えてくれて本当にありがとうございました。最後に、お世話になった先生方、事務の方、友達、そして応援してくれた家族に感謝したいです。ありがとうございました。

豊富な演習量

京大医 T・F (灘卒)

僕が鉄緑会に入ったのは、中学3年の終わりのときでした。入った当初は、膨大な量の宿題にただ驚くばかりで、学校の勉強と部活と鉄緑を全部ちゃんとこなせるかどうか不安でしたが、悩んでいても仕方がなかったので、ただがむしゃらに課題をこなしてきました。おかげで、この時期は学力が上がっていくのを実感できました。この点だけでも鉄緑に入って良かったとは思いますが、やっぱり一番良かったと思うのは高3の数学です。数学は、高2の終わりで一通り学習し終えて、高3での数学の勉強に関しては、あとはテスト演習をひたすらやるのみだと思っていたので、毎週テスト演習してくれたのは本当にありがたかったと思います。学校では150分のテストなんていうのはまずやらないし、他の塾でもそんなにやらないと思うので、この点は鉄緑の一番の強みだと思います。最後になりましたが、お世話になった先生方には本当に感謝しています。今までありがとうございました。

鉄緑と部活の両立

京大医 Y・N (灘卒)

鉄緑会には高1の後期からお世話になりました。入った時は英語、数学ともA3で京医など考えもできませんでしたが、担当の先生のおかげで無事合格することができました。特に、高3でお世話になった英語の松葉先生、数学の福田先生、化学の平田先生には、部活を続けたことに理解を示して下さりつつ、厳しく、時にははげましていただき、本当に感謝しています。受験を乗り越えられたのも、一緒に勉強した友達をはじめ、両親、そして鉄緑会のおかげです。本当にありがとうございました。

不安があってもやっぱり鉄緑会にして良かった

京大医 A・I (東大寺卒)

僕が鉄緑会に入ることを決めたのは高1春のこと。他の某塾に入塾する方針で話が進んでいたのに、「やっぱり鉄緑に行きたい！」と言いつつ迷った。両親にはかなり迷惑をかけた。鉄緑会の話は小学校時代通っていた塾で聞かされていたが、高1から通う塾を選ぶとき、正直、鉄緑を選ぶのは不安だった。超ハイレベルというわさを聞いていたため「ついていけるかな?」とか「そもそも入れてもらえるのかな?」とか心配は尽きなかった。そんなわけで決断が遅れてしまったのだ。ところが、実際入会してみると、そんな不安はいつのまにかなくなっていた。たしかに、授業で扱うものは超ハイレベル。しかし、それだけではない。それを教える講師の先生も、超ハイレベルで、基礎をしっかりとふまえて超ハイレベルな内容を生徒に分かりやすく伝えられることができるのだ。事実、入会当時ともにA4だった英数のクラスも、しっかり1年間鉄緑の授業を受け課題をこなしたおかげでSAに上がることができた。もちろん、同時に学校の成績、模試の成績も急上昇したことは言うまでもない。こんなにすごい塾なのだったら、もっと早く入っておけばよかった。心からそう思った。授業、講師が超ハイレベルなことに加えて、鉄緑がすごい塾である理由がもう1つある。演習量が並外れて多いことだ。僕以外にも多くの人が書いているであろうに、鉄緑の課題を「普通に」こなしていれば「普通に」のびる。点数に直結するのは演習量。(もっとも、鉄緑の教材は『質』も十分だが。)それに、これだけの量をこなしたとしても、高校生活が勉強一色になりつづまらなくなりはしない。そんなことは200%ない。多くの場合、そんな噂を流すのは他塾生。これは僕自身の経験から100%断言できる。もし今この体験記を読んで下さっている方が、鉄緑に入るか入らないか迷っているようなら、僕は心から入会を勧める。もちろん不安もあるだろうが、一度鉄緑の空気を感じてほしい。「食わず嫌い」はよくない。最後にこれまで僕を指導して下さいました先生方(英語:芳川先生、松葉先生、岡先生、数学:鐘本先生、鶴田先生、福田先生、化学:武田先生、物理:新井先生)本当にありがとうございました!

講師の親身のサポートとハイレベルの生徒

京大医 T・M (東大寺卒)

僕が鉄緑会に入ったのは高校2年の時でした。入塾前は「鉄緑会」といえば処理しきれないほど宿題を出される激しいスパルタ塾というイメージがありました。入塾して、進捗が凄まじかったりと周囲の同年生の生徒達から、明らかに自分の到達度が劣っていることが分かりました。ですが、苦しい時には先生が相談のつてくれますし、周りには同じ大学を目指す友人も多くいて、一緒に頑張ろうという雰囲気もありました。課題の量は一週間でもやりきれないほど多くもなく、適切な量であったと思います。そして与えられた課題をこなしてゆくうちに確実に伸びているという実感が得られました。もちろん成績を落として悩んだ時期もありましたが、最後は鉄緑のおかげで受かることができました。鉄緑会のよい所は講師の先生方が親身になってサポートしてくれること、さらにハイレベルでありながら基礎も大切にする授業及び教材にあると思います。加えて一番上のクラスでなくても周りの生徒のレベルが非常に高いという点もよかったです。受験期をこうした恵まれた環境で過ごせてよかったと思います。ありがとうございました。

遅くとも高1の入塾が望ましい。部活も頑張ろう。

京大医 T・O (甲陽卒)

僕が鉄緑会に入ったのは、部活を引退し一段落した高2の10月頃でした。入塾時からA2だったのですが、初回の授業時から数IIIの定理が分からなかったり、進度が凄まじかったりと周囲の同年生の生徒達から、明らかに自分の到達度が劣っていることが分かりました。周囲のライバルに追いつくためにはかなり苦勞しました。数学についてしか僕は言えませんが、遅くとも高1の時点で入塾されることをお勧めします。部活との両立についてですが、僕は数英のみなら可能だと思います。3教科以上は少々キツイと思います。というのも、鉄緑は他塾と比べても演習量がハンパじゃなく桁違いに多いので間違いなく時間的にムリです。ですが、(これはあくまで僕個人の意見なのですが)部活は入るべきだと思います。高3の夏・秋ぐらいに掛けそうになったとき「あの時に比べたら…」とか考えたりすると元気が出ますし、あと部活を通して根性と度胸がつかえます。あと医学部の面接とかでも応対しやすくなります。最後になりましたが、こんなに波のあるややこしい生徒を一年半も面倒を見て下さった数学A2の中北麦先生ありがとうございました。

鉄緑会での6年間

京大法 S・M (洛南卒)

鉄緑会には中1から6年間お世話になりました。中学の頃はクラブ漬けの毎日、宿題もせずつただ通っているという時期もありました。しかし、そんな僕に対しても居残りなど鉄緑会の先生方はとことん付き合ってくれました。熱意のある先生方がいたからこそ、やめることなく続けられるのだと思います。高校に入ると、宿題をきちんとこなし、数学の問題集を何度も解き直すことで、中学時代C帯あたりをウロウロしていたのに、A帯に上がることができました。鉄緑会の教材は、市販のどんな参考書よりも優れていると思います。僕は文系ですが、文系だからこそ鉄緑会で数学を学んでいたことは大きな自信になりました。さらに、鉄緑会には、よきライバルがたくさんいました。全国でも有数のレベルの人達とともに勉強することはとてもよい刺激になります。そして、何となく鉄緑会の一番の魅力は先に述べたように生徒に対して本当に親身になってくれる講師の存在だと思います。進路についてや、勉強法について悩んだ時、日常のささいなことまで、夜遅くまで面談していただき、何度も救われました。高3でお世話になった近藤先生、芳川先生をはじめ多くの先生方には本当に感謝しています。中学生時代の不まじめだった頃担当してもらっていた先生に高3になっても廊下で会うたびに「最近どう?」と気にかけてもらえる塾は鉄緑会しかないと思います。自習室から、閉まる時間になってもなかなかでいかず迷惑をかけた事務の方々に感謝感謝です。鉄緑会には長い間お世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

鉄緑会での3年間

京大法 K・S (附池田卒)

私は高1の夏から鉄緑会に入会しました。私は数学と英語を受講していたのですが、授業の内容の濃さと、宿題の分量に圧倒されました。私は学校でクラブに所属しており、鉄緑会の宿題がおろそかになりがちでした。それでも、授業をもって下さった先生方に支えられて、自分の最大限の努力をしようと思えました。実際、鉄緑会とクラブの両立は本当にしんどいものですが、今となってはクラブをあきらめないで良かったと思いました。高2の終わりにクラブを引退すると、その分の時間を勉強にあてられるようになり、クラブをしっかりやり終えたという達成感から高3の勉強はクラブで培った集中力(弓道部だったので…)をもって、かなり質のよいものとなったと思います。高3にはチューターの制度があり、信頼できる先生と一緒に勉強をどう進めればいいかを考えたり、模試の結果が悪いときは話を聞いてもらって不安を解消したりすることができました。先生は他塾と比べて自分と年齢が近いので、なんの抵抗もなく相談することができ、先生も親身になって話を聞いてくれたので、本当にありがたかったです。谷口先生には本当にお世話になりました。高3の数学は村石先生に担当してもらい、数学の基礎力を再確認した上で、抽象的な問題、とっつきにくい問題にどう取り組めばいいかという発想力をきたえられました。高3の英語は井上先生に担当してもらい、入試英語をどう読めばいいかを基礎的なレベルから、かなり発展的なレベルまで教えてくれました。また、先生は自分の経験もまじえて色々話してくれて、とてもためになりました。先生のアドバイスのおかげで自分が英語の構文を誤って解釈し、そのまま雰囲気でも和訳するという悪い癖をもっていることに気付くことができ、最後の方には英語の点数が安定してきました。鉄緑会に入る最大のメリットは周りから常に刺激を受けられるということです。周りの人が一生懸命勉強していると、自然と自分も勉強しなければいけない気持ちになり、高3の受験期には、モチベーションが高いまま勉強に取り組むことができました。鉄緑会の質の高いテキスト・授業に取り組む復習することでそれらを自分のものとすることができれば、どんな大学でも入れると思います。私は鉄緑会のおかげで第一志望の大学に合格することができました。今までお世話になった先生方、事務の方、私を支えてくれて本当にありがとうございました。鉄緑会に入会して勉強に励めてよかったです。

最強の塾、鉄緑

京大総合人間 S・A (甲陽卒)

第一志望に合格して毎日が楽しくて仕方ない…それも鉄緑がなければ、恐らく実現しなかったと思います。私は中3の冬から、当時学校でも下の方だった成績を何とかしないといけない、その為に最強な塾と呼び名が高い鉄緑に通い始めました。そこには小学校の塾で名前が載っていた人達がうようよいて、なんて塾だと武者震いしました。またテキストの難易度も非常に高く、(多分鉄緑の高1までの教材を完璧にすれば一般の高3生には負けることはないレベルだと思います)更に先生方も殆どが京医の大学生で熱意に溢れており、出来の良くない私にも丁寧に教えて下さいました。正直言って私は鉄緑の勉強をあまり消化できていませんでしたが、それでも成績は嘘のように上がっていきました。また、鉄緑は文系数学が2クラスしかないような完全な理系塾で文系の私は少し不安に思っていたのですが、それは全くの杞憂でした。それどころか鉄緑でやることをやっていたら京大文系内で普通にトップクラスに立つことができました。本当に鉄緑は最強の塾でした！本当に鉄緑のおかげです。ありがとうございました！

鉄緑会での6年間

阪大医 T・H (灘卒)

中学1年生の時から鉄緑会に通い始めました。中学のときからボリュームの多い宿題のおかげで、確実な力が着いていったように思います。高校からは野球部に入部していたので、部活との両立がかなり困難なものとなり、クラスも落ちましたが、先生の助言により、持ちなおすことができました。とても質の高いテキストのおかげで受験に対して怖いものはなにもないと言っても過言ではなかったです。最後になりましたが、6年間ありがとうございました。

鉄緑会での6年間に感謝

阪大医 M・H (神女卒)

私は中学1年生の時から6年間鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会で扱う問題はとても質が良く、予習した後授業を聞いてしっかり復習すれば着実に身につくようになっていきます。毎週テストがあるので、そのために勉強すれば自然と勉強する習慣もつきます。そして鉄緑会の先生方は本当に素晴らしいと思います。ほとんどが医学部の先生なので勉強法や成績など本当に色々相談のしてもらえました。思ったような成績が出ず、嫌になったこともありましたが本当にあきらめず鉄緑に通い続けてよかったと思います。鉄緑会に通っていなかったら合格することは多分できなかったと思います。最後になりましたが、チューターの乗本先生、熊谷先生、岩重先生、作道先生、木下先生、福岡先生、本当にありがとうございました。

苦しくも楽しかった鉄緑生活

阪大医 S・K (四天卒)

私は英数は中1から、理科は高3から鉄緑会にお世話になりました。私の場合、高1まではただ授業を受けていただけで、もちろん成績も良くありませんでした。高2になって少し受験が目に見えてきたため、プリントなどの課題にも取り組むようになりました。その成果もあって高2の夏の校内模試では英数ともにクラスを上げることができました。鉄緑会の良いところは真面目に取り組めさえすれば、良い教材がそろっているので確実に成績を伸ばすことができる所です。そして、辛い時、親身になって相談のって下さる先生方や、励まし合う仲間がいる所です。私自身も高3の夏、思うように成績が伸びず、チューターの福田先生をはじめ鶴田先生、新井先生には、本当によく相談のって頂き、良い精神状態を保つことができました。最後になりましたが、数学科の福田先生、鶴田先生、中北先生、英語科の太田先生、宮脇先生、物理科の新井先生、福岡先生、化学科の森永先生、平田先生本当にありがとうございました。

鉄緑会での6年間

阪大医 M・O (甲陽卒)

僕が鉄緑会に通って良かったと思う点は二つあります。一つ目は演習量の多さです。中1の時から問題を多く解くことを習慣づけられたことで受験時に長時間集中することがさほど苦痛ではなかったことです。また、自分のレベルより少し高い問題に多く触れることができたので授業について行き宿題をするだけで自ずと実力がつきました。そのおかげで焦ることなく受験することができました。二つ目は先生方が大学生であることです。先生も学生なので生徒との距離が近く、受験生の悩みもよく理解してくれているため相談などもとてもしやすかったです。ここまで勉強を続けられ合格できたのもこれらの鉄緑会の強みのおかげだと思います。6年間お世話になりました。

鉄緑会は質で勝負!!

阪大医 S・K (星光卒)

僕は、中1から高3までの6年間鉄緑会に通いました。その中で感じたことを書いておきます。1つに、鉄緑会の実績からして、「つめこみ教育」のようなイメージがあるかもしれませんが、実際は逆で、最も効率的で効果のある問題を繰り返すことで、無駄なことをせずに最短距離で合格へ向かいます。だから、実績が良いのだと思います。例えば、高三でやる数ⅢCを高1からやるなど、早くから、演習を積んでいたことは、良かったです。2つには回りのレベルの高さ、そして、講師とのかかわりです。完全な能力別クラス制で、自分と同じくらいの力の人と一緒に授業を受けることで、ともに刺激し、上を目指します。また、他塾にはない講師との親密な関係は、合格してから大きな財産となります。最後に、講師の人たちには、受験を通し、もっと大きな世界、大人の世界について教えてくれ、自分の内面の成長の大きな一因となりました。鉄緑会で本当に良かったです。

鉄緑会での6年間

阪大医 S・H (附池田卒)

私は中1の春から6年間、鉄緑会に通いました。始めは宿題の多さ、授業の進む速さに驚き、時にはサボってしまうこともありましたが。そんな私も高2になり、下川先生に数学のクラスを持ってもらい、勉強に対する姿勢が変わりました。この頃から自習室で勉強するようになり、やればやる程伸びる数学に楽しみを覚えました。鉄緑の宿題をしっかりとこなせば、確実に力がつくと思います。そして自習室で勉強するようになって、他校の子と話すようになりました。勉強の合間に、めいっばいしゃべって、笑いました。辛いときも、みんなずっとそばで話を聞いてくれました。そしてみんなレベルが高いので、共に過去問を解いたり、切磋琢磨し合うことができました。私が大変な高3の1年間を乗り越えることができたのは、彼らのお陰だと思います。またチューターの福田先生はしゃべってばかりで不真面目な私に愛のムチを振るって下さいました。たくさん質問を受けて頂き、しょうもない話から超ネガティブな話まで聞いて頂きました。英語A2の井上先生には様々な相談に乗って頂き、心に響く言葉をたくさん頂きました。最後までお世話になりました。最後になりましたが、お世話になった先生方、特に福田先生、井上先生、中北先生、平田先生、岩重先生、福岡先生、宮脇先生、下川先生、本当にありがとうございました。

一度辞めたがやっぱり鉄緑会で

阪大医 T・I (星光卒)

僕は中1の1年間と、高2～高3の2年間、計3年間鉄緑会にお世話になりました。中1で一度辞めたのは、僕が鉄緑会の宿題を全くせず、授業についていけなくなっていったからです。高2から再び鉄緑会に通うようになったのは、学校の勉強だけでは現役で難関大医学部に合格できないのではないかと、不安を抱き始めたからです。高2からは英語と数学の2教科をお世話になったのですが、通い始めた当初は英語は予習の和訳はできたつもりでも誤訳ばかり、数学は予習の問題が全く手も足もでないというひどい状態でした。正直、勉強が嫌になった時期もありました。高2後期にはクラス落ちも経験しました。しかし宿題をきちんとやり続けていると気が付けば予習も大分できるようになっていき、模試などの成績も文字通りぐんぐん伸びていきました。継続は力なりという言葉は本当だったのです！レギュラー授業以外にも化学の季節講習なども受講しましたが、レギュラー授業を取っていない僕でも非常にわかりやすく、ためになりました。現役で阪医に合格できたのは鉄緑会のおかげです。お世話になった先生方、ありがとうございました！

非常に多い演習で実践力を

阪大医 R・M (甲陽卒)

僕が鉄緑に入ったのは中2からでそのときは英語しかとっていませんでした。そして高2から数学を、高3から物理をとりました。英語は早い段階から入ったこともあって中学では苦手意識があった英語が高校に上がる頃には自分の得意科目の1つになっていました。数学と物理は入るのが遅かったので鉄緑の授業についていくのは少し苦労しました。鉄緑が他塾より優れているのは演習問題が非常に多いことです。非常に質の高い良問ぞろいのテストや問題集、プリントを大量に解くことで遅くから入った数学、物理の実力は飛躍的に上昇しました。また、講師が現役の京大や阪大の医学部生が多く彼らの受験時代の勉強方法など合格の秘訣を聞くことができたのも鉄緑ならではの、たいへんためになりました。最後になりましたがお世話になった先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。

理科の重要性

阪大医 K・U (洛南卒)

僕は中3の秋から英語を、高1から化学を、高3から数学を受講しました。僕が受験に成功することができた最大の理由は、できる限りはやい段階で英語を受講していたことや、数学を高3から受けていたこと(遅かったけど)、などありますが、化学が得点源にできたことだと思います。僕はマジメなタイプではなく、英語、化学は完全に死んでいたのですが、英語は高2からかなりマシになったし、化学は高2の時に神がかった成績をとって以来、かなり自信をもてました。受験本番では物理がとてつもなくひどい成績でしたが、化学ができたからこそ合格することができたのだと思います。最後になりましたが、根本からたたきなおしてくれた数学科の鐘本先生をはじめ、武田先生、熊谷先生、谷口先生、その他大勢の先生方にフォローしていただき、本当にありがとうございました。

充実した問題演習と競争心をかきたてる環境

阪大医 T・I (灘卒)

僕は、高1から鉄緑会の数学と英語に通い始めました。鉄緑会は、問題演習が充実しているので色々な問題に触れることができ、本当に実力がついたように思います。また、モチベーションが高くて優秀な人が多く、競争心をかきたてられる環境であったことも自分にとって良かったと思います。先生と生徒との距離が近いのもいい所で、どんな相談でも親身になって聞いて頂けました。教えてくださった講師の皆様方、ありがとうございました。

鉄緑会はどこよりも合格に近い塾

阪大医 K・M (灘卒)

僕は、高校から灘に入ってからしばらくの間、どこの塾にも行かず、ボーっと毎日を過ごしていました。こんな状態だったので、学力は下がる一方で、得意だったはずの英語力にさえ自信をもてなくなり、頭のいい友達が多く通っていた鉄緑会で英語を受講することに決めました。そこで、入試までずっとお世話になった松葉先生に出会い、レベルの高い授業と友達に衝撃を受けました。高2からは迷うことなく、物、化、数、英全てを受講。どの教科も先生、テキスト共にすばらしいので、鉄緑会に入れば、どこよりも合格に近づけることは間違いないです。この塾なしで現役合格はありえませんでした。2年半の間お世話になった松葉先生、チューターの木下先生、化学の武田親宗先生、数学の福田先生、物理の岩重先生、その他お世話になった全ての先生方、本当にありがとうございました。

「トップレベルの受験生が集まる塾」

阪大医 E・S (神女卒)

私は高1の時、他塾で数学を受けていたのですが、あまり身についている感じがなくて、もっと数学が得意になりたいと思って鉄緑に通うことに決めました。入塾当時はB1クラスでした。それでも、初めは鉄緑の授業の難しさ、宿題の多さ、同じクラスの友人達のレベルの高さに圧倒され、ついていけなかった。しかし、授業についていけて、その次の校内模試でA1クラスまで上がり、一気に数学に自信がつかえました。それ以降、高3の最後まで同じ先生に数学の面倒を見てもらうことになりました。中北先生、本当にありがとうございました。鉄緑のよさは、親身になってくれる先生方、通っている生徒のレベルの高さ、つまりは勉強に最適な環境であることだと思います。高1の時は、医学部なんて絶対無理だと思っていた私が、ここまで成長できたのは鉄緑会のおかげです。先生方、事務の方々に感謝を申し上げます。

授業と生徒のレベルの高さ

阪大医 M・K (清風卒)

私は高1後期から鉄緑会のお世話になりました。入塾した理由は、夏期講習を受け、その授業と生徒のレベルの高さに驚いたからです。それまで、学校の勉強だけを頑張ればいいという考えだった私は、授業のペースについていけなくて大変でしたが、しばらくすると学校の内容が簡単に思えるようになり、塾の方でもどのように勉強をすればいいのか分かるようになりました。高3になってからは、思うように数学が伸びなかったり、物理で悩んだりしましたが、各科目の先生方が色々アドバイスをしてくださり、そのお陰で頑張ることができました。最後になりましたが、チューターの鐘本先生、高3を担当していただいた松葉先生、新井先生、作道先生、その他先生方、本当にありがとうございました。

演習量の多さと精神的なサポート

阪大医 S・M (東大寺卒)

僕は高校一年生の時は某予備校に通っていましたが、しかし、毎週ダラダラと授業をうけるだけで、あまり成績は伸びず、このままではいけないと思い、友人のすすめで、高2から鉄緑会に入会しました。始めは、授業の長さや、宿題の多さに驚きましたが、それらを真面目にこなすうちに、成績はどんどん上がっていききました。高2最後の模試では、あまり良い結果を残すことができず、クラスも上がらず、落ち込みました。しかし、先生達の助けもあり、悔しさをバネにして頑張ることができました。高3になると、自習室をよく利用するようになり、そのうち違う学校の友達もできました。鉄緑会に通う生徒は皆レベルが高く、友達に刺激をうけ、競い合い、はげましあうことで、より一層自分を高めることができました。本当に一生付き合える仲間ができたと思います。鉄緑会の特にいい所をあげると、その演習量の多さだと思います。たくさん問題をこなしていくうちに、確実に実力がつき、さらに毎週テストをすることで、定着度や、クラス中での自分の順位を知ることができ、より一層勉強に励むことができました。また、先生との距離の近さも魅力の一つだと思います。わからないことがあったり、自分の勉強法について不安なことがあれば、気軽に質問できました。さらに、時には励ましてもらい、時には厳しい言葉をかけてもらうことで、勉強面だけでなく精神面でも、先生方には支えられました。最後になりましたが、お世話になった下川先生、小林先生、平田先生、西河先生、をはじめとする先生の方々に、本当にありがとうございました。

鉄緑会での6年間

東大理 I T・K (洛南卒)

僕は中1から6年間、お世話になりました。中学の頃は授業にでて、宿題をこなすというだけで精一杯だったような気がします。しかし、その分、基礎が身につく、高校でしっかり勉強する土台ができたと思います。高校に入ってから、先生方の励まし、分かりやすい授業、そしてレベルが高く、良い友達に囲まれたことで、がんばって勉強できました。鉄緑会は、本当に恵まれた、最高の環境だったと思います。最後になりましたが、今までお世話になった先生方、事務の方々に、ありがとうございました。

刺激しあえる賢い仲間

東大理 I S・O (灘高卒)

僕は中2の夏に学校の英語の成績が悪かったので、鉄緑会の英語に通うようになり、その後数学や理科も鉄緑会のお世話になりました。入った当初は進度の速さや、宿題の量の多さに圧倒されましたが、それにがんばってついていくことで、成績がよくなり、中3の春には英語のSAクラスに上がることができました。鉄緑会には実力のある人が大勢通っています。校内模試でクラスが決まるので、上位クラスに残るために必死に勉強したのを記憶しています。特に高2最後の校内模試前に勉強することで、他の受験生よりも早くスタートを切ることができました。また高3になってからもお互いに刺激し合い、受験を乗り切ることができました。このように賢い人が多いことが鉄緑会のいい点だと思います。最後になりましたが、お世話になった先生方、事務の方々に、ありがとうございました。

ありがとうございます!!

東大理 I T・N (灘高卒)

僕は中学3年の時から数学を鉄緑会でお世話になりました。僕は、面倒くさがりで、やる気がないと、すぐにサボってしまうクセがあったのですが、先生が戒めてくださったので、頑張ることができ、合格することができました。毎回、出される宿題によって演習をつみ、復習テストで各項目のチェックをするというサイクルで、基礎が定着したと思います。また、先生は、一人一人丁寧に接してくれるので、勉強が遅れた時も、具体的にアドバイスをくださり、何とか高校3年間のりきることができました。最後になりましたが、僕を支えて下さった周りの方々3年間と少し、ありがとうございました。

クラブ、行事にも力を入れる!

東大理 I S・M (灘高卒)

中学の頃は遊ぶことしかしていませんでしたが、「高校から鉄緑に入れば大丈夫」という先輩の言葉を信じて、高1から鉄緑に通い始めました。中学から鉄緑に通っていた子たちには当然のことが自分には未知の領域だったり最初は大変でしたが、先生方の優しいサポートと膨大な演習量でなんとかなりました。高2になると、数学、数ⅢC、英語、化学の4教科になり、クラブも最後ということで真剣にやっていたため、なかなかハードでした。毎週遅刻してしまいましたが、それぞれの先生方が対応策を考えて下さり、非常に助かりました。高3からは数学、英語、物理、化学を受講しました。高3になったからといって、勉強onlyというわけではなく、文化祭、甲南定期、体育祭と様々なイベントに全力で取り組みました。この時も遅刻する度に、先生方のあたたかいサポートに救われました。勉強のことはあまり書いてきませんでしたが、後輩たちに伝えたいことは、鉄緑の演習量はものすごいので先生を信じて突き進めば大丈夫だ、ということです。行事やクラブにもぜひ積極的に参加して下さい。やりたい!!という気持ちと気合があれば、なん

でもできます。先生方に相談すれば、色々対応策を考えていただけるので。最後になりましたが、これまでお世話になった先生方、事務員さん、家族、そして一緒に勉強してきた仲間たち・・・すべての人に感謝しています。本当にありがとうございました。

鉄緑会での6年間

東大理Ⅱ A・N (海星卒)

私は中1から高3までの6年間鉄緑会でお世話になりました。私は、自分から何かをするタイプではなかったので、適切な素晴らしい教材を与えて下さる鉄緑会は私にピッタリの塾でした。ちゃんと授業を聞き、復習するだけで合格するのに十分な学力が必ずつきます。また、周りの環境という面でも鉄緑会は最高の塾だと思います。学校では東大を目指す人がいなかったため、鉄緑会に通っていなかったら東大を目指すことすらなかったと思います。鉄緑会では周りのレベルが本当に高く、東大を目指す人が山ほどいたため、東大を何となく身近な存在に感じる事が出来、東大を目指す事が出来ました。周りのレベルが高い環境に身を置くことで、現在の自分の位置に甘んじることなく上を目指す事が出来るようになるのだと思います。さらに、鉄緑会には自分のことを親身になって考えて下さる素晴らしい先生方がおられます。勉強の事のみならず様々な事の相談相手になって下さり、辛い時、本当に助けになって下さいました。鉄緑会に通っていたからこそ、東大理Ⅱのみならず慶応大学医学部にも合格する実力がついたのだと思います。最後になりましたが、チューターの井上先生をはじめ、中学生の頃からお世話になった松葉先生、鶴田先生、高3で担当して下さいました下川先生、岩重先生、平田先生、その他のお世話になった先生方、事務員さん、本当にありがとうございました。ました。

なりたいたい自分に妥協はするな!! 練習は本番のように、本番は練習のように

東大理Ⅱ T・T (東大寺卒)

僕は中3の秋から鉄緑会に入会し、受験の日までお世話になりました。鉄緑会の良い所は、テキスト・授業の質の高さ、共に勉強する仲間のレベルの高さなど、枚挙にいとまがありません。例えば高1から早くも数ⅢCが始まり、高2からは本格的に理科が始まるなど、他塾の追従を許さないスピードで学習が進んでいきます。この進度がいかに受験に有利に働いているかは、実績が物語っています。そんな中でも、僕が特に良いと思ったのは、先生方との距離が近いことでした。高3では、様々な困難にぶつかりましたが、先生方と何度も何度も面談をさせて頂き、頑張ることができました。熊谷先生には添削をしていただいたり、細かな点について納得いくまで説明していただいたりし、英語に自信をもつことができました。乗本先生には、数学の頭の動かし方を教えていただき、それだけでなく、人生の教訓とも言うべき「なりたいたい自分に妥協はするな!!」「練習は本番のように、本番は練習のように」などの金言を授けていただきました。これらの言葉は受験当日まで役立つものでした。そして、チューターの武田先生には高2の頃からお世話になり、時には厳しい言葉も言われましたが、勉強全体への的確なアドバイスをたくさんいただき、勉強に邁進することができました。熊谷先生、乗本先生、武田先生をはじめ、鉄緑会でお世話になった先生方には心から感謝しています。長い間、本当にありがとうございました。

鉄緑会ありがとう

東大理Ⅱ Y・K (附池田卒)

私は高1の4月から鉄緑会に通い始めました。入会してすぐ、授業の進度の速さに圧倒されました。特に数学は、CNクラスで谷口先生が支えて下さらなかったら、とてつもないでいけなくてすぐ退会していたと思います。高3の最後まで、チューターとしてもアドバイスを下さった谷口先生、どうもありがとうございました。幅広い英語の世界を教えてくださいただけでなく、夏の模試が悪かった時に励まして下さった井上先生、苦手だった数学を圧倒的な経験から最短距離で引き上げて下さり、いつも親身になって応援して下さいました木下先生、論路的思考を大切に物理を「得意科目」になるまで伸ばして下さい、どんな質問も丁寧に受けて下さった福岡先生、その他お世話になった先生方本当にありがとうございました。

鉄緑会での6年間

神大医 K・Y (神女卒)

私は中1から六年間鉄緑会に通いました。中学の頃はぼんやりと勉強していたように思います。高校に入って、勉強することが苦しくて、何度も辞めようと思いました。そんな時、鶴田先生によく泣きつきました。本当に申し訳なかったと反省していますがとても助かりました。鉄緑会の良いところは先生と生徒の距離が近いことです。高2の時は武田先生におんぶに抱っこなアホで大変迷惑をかけました。英語の芳川先生も大好きでした。精神的にアップダウンが激しい私を上手くコントロールして下さいました先生方には感動します。また、周りの友達レベルの高さも良い刺激になると思います。最後になりますがお世話になった松葉先生、芳川先生、鶴田先生、武田先生、作道先生、事務員のみなさん、ありがとうございました。

学校対策不要の鉄緑会での6年間

京都府立医 Y・I (神女卒)

私は中1から高3までの6年間鉄緑会に在籍していました。中学生の間は西宮教室でお世話になり、毎回楽しく通わせていただきました。鉄緑会は進度が速く、常に学校よりもレベルの高い事を習っていたので、学校の定期考査などで困ることはありませんでした。高校生になって大阪校に移ると、周りのレベルが一気に上がった事を感じました。この頃から成績が思うように伸びずつらい思いをする事も増えましたが、その度に先生に相談のってもらったりして、立ち直っていました。鉄緑会のいい所は先生と生徒の距離が他塾に比べ近い事だと思います。また、鉄緑の先生方は、「この人の言う通りに勉強すれば合格できる」と思えるような方が多いです。事実、私は模試の結果は毎回悪かったですが、先生に言われた事は必ずやるようにしていた結果、無事合格することができました。最後になりましたが、木下先生、熊谷先生、岩重先生、平田先生、鶴田先生をはじめ、今までお世話になった全ての先生方、事務の方々、友人達、家族に大変感謝しています。ありがとうございました。

鉄緑のテキストだけで入試問題に充分対応できる

京都府立医 R・H (洛南卒)

私は中学の一年の時から6年間鉄緑会に通いました。中学の間は英語・数学共に常に、復習テストでは点数が悪く、校内模試直前の2ヶ月間で復習テストとテキストを全て5回ずつ復習し、SAクラスを保っていました。しかし、高校に進学すると、学校の授業数、宿題量、通学時間が増え、鉄緑の勉強にかける時間が少なくなってきました。それもあって、クラスはガタ落ち、SAだったのにB帯まで落ちてしまうという、ハプニングが起こりました。しかし、そこから担当の先生方の応援の言葉、アドバイス等を受け、何とか精神的にも持ちこたえました。そして、最後の校内模試で、数学がB3→A2へと上がりました。ショックなことをいつまでも考えこまず、ただ今自分ができることだけをしっかりと行っていくことによって、必ず自分の力へと変えることができるようになると思います。鉄緑のテキストを最後の一年間はしつづけてきました。このテキストは本当に良問ばかりをあつめていて、力になると思いました。最後に、お世話になった、鶴田先生、中北先生、鐘本先生、木下先生、岡(利)先生、加藤先生、安藤先生、松葉先生、芳川先生、中野先生、岡(教)先生、小林先生、西河先生、玉置先生、平田先生、ありがとうございました。

鉄緑会での6年間

東京医科歯科 Y・U (附天卒)

私は中学一年生から六年間、鉄緑会にお世話になりました。私の学校は進学校ではなく勉強はさかんではなかったので鉄緑会のように良質な宿題を多く課してくれる塾はありがたかったです。中学までは適当に勉強していたのですが、高校からは鉄緑会で受講していた数学は真剣に取りくみました。そのおかげで、入試まで苦手の英語を数学がカバーできました。また、鉄緑会には優秀な友達と切磋琢磨できる環境が整っています。私が合格できたのは鉄緑会のおかげです。最後に、チューターの中北先生をはじめ、福田先生、その他のお世話になった先生方、ありがとうございました。

鉄緑会での6年間

関西医科歯科・阪大歯 H・T (神女卒)

私は中1から高3までの6年間お世話になりました。センター試験は息が詰まるほど失敗してしまい、一時期は受験校を変えようとも思ったこともありましたが、こうしてここまでこれたのは、今まで鉄緑会のおかげで模試で成績を残せたために、自信がついたからだだと思います。最後に、気分屋でわがままな私を捨てることなく、時に厳しい言葉ではげましてくれた家族、チューターの福岡先生、鐘本先生、宮脇先生、武田先生、平田先生、岡田先生、福田先生、をはじめとする今までお世話になった先生方、事務のみなさんありがとうございました。

大嫌いな英語が好きになれた!

阪大歯学部 T・S (六甲卒)

僕は、英語がとても嫌いでした。でも高3になり、辻先生のクラスになって、僕の英語に対する姿勢が大きく変わりました。授業がない日も鉄緑に来てくれて、僕の英作を添削してくれました。お陰で、僕は、英語が得意とまではいかないけれど、好きになることができました。辻先生、本当にありがとうございました。これまで、辻先生のことばかり言ってきたけれど、僕が合格したのは、もちろん色々な先生方や友達のお陰です。今まで本当にありがとうございました。

(合格者の声は一部の方のみとなっております)